

【創刊 2013 年 1 月 25 日】

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所

代表 門崎 允昭

事務局長 Peter Nichols ピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

Tel 011-892-1057

ご意見やご連絡は、次の email へお願い致します
(kadosaki@pop21.odn.ne.jp)

- 会報の 1~126 以前の号は Website に「北海道野生動物研究所」と入力し、
ご覧下さい。

「北海道熊研究会」の Facebook と Twitter の編集は横山敬子氏が当たります

Facebook : <https://www.facebook.com/HokkaidoBearResearchAssociation>

北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association の活動目的 熊の実像
について査研究し、それを啓発する事です。

日本での熊問題は 2 つ、

① 熊が市街地や農牧地などの出て
来て、人に不安や被害を与える事、

② 熊の生息地に人が不用意に行っ
て、熊に襲われる事故の 2 点である。

熊が市街地に出て来るのを防ぐ対策

日本には、本州と四国に月輪熊が、そして北海道には罨が居る。なぜか、月輪熊は罨よりも、人を襲いやすい。

両種とも本来の生息圏は、人里以外の場所であるが、時に人の生活圏に出て来る。

動物の行動には（人も熊も）、必ず目的と理由があるが、月輪熊も罨も、何らかの理由で市街地に出て来る。

これを防ぐには、

過去数年間に、熊が出て来た場所を、特定して、そこから市街地に出て来ないように、

有刺鉄線を地面から 30～40cm 間隔で、4～5 本張る事である。既に高速道路の両側には、動物侵入防止柵が、何百kmにわたって全線にわたり設置されて居るではないか。

熊が市街地に出て来ないように、するには、
侵入防止柵の設置以外、熊を今のように殺しま
くる以外、方策は無い。

と、私は断言したい。

以前から、幾年にもわたり熊対策と称し、熊の毛を採集して、DNA 調査を多額の税金を使い、特定の会社にさせているが、こんな調査は、全く日本で国民と熊が、トラブル無く、共存して行く為の方策の確立には、全く無用の調査である。

その金（予算）を、柵の設置に回し、早期に、市街地に熊が出て来ないように、すべきである。と私は皆さんに訴えたい。

皆さんは、どう思いますか。

熊対策の基本

①熊が居るような場所に行く場合の注意

北海道の罴も本州に居る月輪熊も、稀ですが人を襲い喰う事が有ります。ですから、熊が居る様な」場所に、行く場合には、その対策をして、行くべきです。

熊類は動物分類学で食肉目(ライオン、トラ、等)に属し、人を食べ物として、襲い喰う事が有るのです。=これは、自然の摂理として、異常な行為ではないのです。

故に、それを防ぐ準備=武器=鉈が最適。=熊は(罴も月輪熊も)は人を襲う時、抱きついて襲うので、柄が長い刃物は不適です。

アイヌはタシロ(鉈と同じ刃物)と、それより、少し小形のマキリ(小形の鉈)を、熊に襲われた場合の、

武器として左右の腰に分けて着けて、隣の家に行く場合でも、常に携帯していたといえます。

(萱野；アイヌの民具 P.25-27)

- アイヌが武器を左右の腰に携帯したのは、熊に抱きつかれた状態で襲われた時に、左右いずれかの武器を腰から手で引き出し、熊に反撃するためであったと言います。

熊は刃物で反撃されて、少しでも血が出るような傷を受けると、人を攻撃する事を止めるのです。但し、手負いを負わせた猟師を攻撃する場合は、猟師が死に至るまで、止めない。

②それ故、私が皆さんに推奨し、実行して戴きたい事は、熊が居るような場所に、行く場合には、先ず「、ホイスル」と「鉦」を携帯する事を、実行して下さい。鈴やラジオは風や流水が強いと聞こえない故、不適です。

北海道の道庁では道職員が熊が
居そうな場所に行く場合には、鉈
の携帯を義務づけたと言う事です。
道民に公表しないのは、犯罪で鉈
が使用される可能性を憂慮してだ
と言うが。しかし、それは、本末転
倒である。熊対策と犯罪とは、全
く別問題である。

熊の居そうな場所に行く場合に
は、「鉈とホイッスル」を、必ず携帯する
事を、啓発すべきである。

ここで、一つ道職員での熊を研究していると言う道立総合研究機構の釣賀自然環境部長が2023年11月17日の道新に、熊に萬が一襲われた場合には、地面に腹ばいで、頸部を両手で覆い、頸動脈などの急所を守る事が重要だと、述べているが、これは、全く罽が人を襲う実態を、一つも実証調査した事が無いものの想像での妄言で、こんな道職員は即刻、その職から外すべきであると、私は言いたい。私は道内で生じた罽に依る人身事故94件について、検証調査し、報文に公表している。

③次に熊除けガススプレーであるが、本気で人に襲い来る熊には全く無力です。熊はガスで吹きつけられていても、人を襲い続けるのです。

所で、熊が人を襲う「原因目的理由」は3項目あります。

その① 人を「食べる目的」で襲う事があります。

その② 人をその場から、「排除するために」襲う事があります。

その③ これは満2歳の熊に限られての事ですが、「戯れ・や苛立ち、不快感」から襲って来る事があります。

今年 2024 年の北海道での罽に依る

人身事故は 2 件発生しました。

その実状は、

① 5月5日、日高管内の浦河町上杵臼で、
アイヌ社’を採りに行った様似町在住の佐藤勝
さん（81才）さんが、足幅10cm程の罽に
襲わ、首や胸や腕を引っ搔れたり、嚙られた
りした（道新；2024年5月6日に依る）。

② 5月3日午後3時15分頃、雨竜町恵岱
別川周辺の山林で調査していた道職員の久
保証治さん（51才）が、体長1m程の単独
熊に襲われ、胸や背中などに傷を受け、胸を
10針縫う傷を受けた。鉦・ガススプレ・笛・
鈴を、携帯していたが、熊が瞬時に襲って来
たので、使う余裕は無かったと言う；（道新、
2024,8.3の記事）。

(門崎の意見)「人を襲った原因」

飽くまで、推定であるが、人を、その場から

人を排除する為に、襲ったもので、遭遇に不

安・不快感を懐き襲ったと、私は見る。私(門

崎)は、熊は実際には1 mよりも、大きかつ

たのではないかと思う。理由は門崎に経験

で体長1 mの熊が人を襲う事は、先ず無い

事による。 (了)